

☆ チョウ類調査～チョウの道ウオーキング～2014 ☆

せら夢公園サポーターズクラブでは今年から、せら夢公園のチョウ類調査をはじめました。チョウ類は種類ごとに幼虫が食べる植物「食草」が異なっている等、植物と密接な関係があるため、地域の植生の状態を知る良い指標とされています。

また、2012年には日本チョウ類保全協会編の『フィールドガイド 日本のチョウ』という手ごろで分かりやすい図鑑が出版されたことで、チョウの種類を調べるのもずいぶん楽になってきました。

調査は、世羅台地でも行われている環境省の『モニタリングサイト 1000 里地調査』の中の「チョウ類調査」に準じて行い、月2回、園内に設定したルート（約1時間）を歩いて、見られたチョウの種類やその数を記録していきます。

2014年3月下旬から11月上旬までの間で計19回を行い、確認できたチョウは**35種類**、のべ302匹でした。季節や調査条件によって違いますが、単純に平均すると毎回6種類、15.9匹のチョウたちを見られたこととなります。

また、調査時以外のこれまでに見られたチョウを合わせると、計**44種類**を確認しています。まだ私たちが気づいていないチョウもいると思いますので、これからの調査が楽しみです。

せら夢公園のチョウ類調査は来年以降も継続して行います。自然観察園を歩きながら、自然やチョウを気軽に楽しめるイベントです。みなさまのご参加、情報をお待ちしています！



調査ルート(赤線)内には、林内や林縁・湿地・草地といった多様な環境があります



『フィールドガイド 日本のチョウ』
チョウの種類を識別するのに最適です



ノアザミの花の下で交尾する
ウラギンヒョウモンのメス(左)とオス(右)



調査以外で見られた絶滅危惧種のチョウ、
ツマグロキチョウ(10月26日)

せら夢公園で見られたチョウ

2014年11月 せら夢公園

科名	種名	合計確認数	食草
1 2 3 4 アゲハチョウ科	クロアゲハ	4	イヌザンショウ等(ミカン科)
	アゲハ	8	イヌザンショウ等(ミカン科)
	キアゲハ	2	セリ、ムカゴニンジン等(セリ科)
	ミヤマカラスアゲハ	○	イヌザンショウ等(ミカン科)
5 6 7 8 9 シロチョウ科	キチョウ	57	メドハギ、ネムノキ等(マメ科)
	ツマグロキチョウ	○	カワラケツメイ
	モンキチョウ	50	シロツメクサ等(マメ科)
	ツマキチョウ	1	タネツケバナ等(アブラナ科)
	モンシロチョウ	2	タネツケバナ等(アブラナ科)
10 11 12 13 14 15 シジミチョウ科	アカシジミ	2	コナラ、クヌギ等(ブナ科)
	コツバメ	6	アセビ等
	ベニシジミ	20	スイバ、ギシギシ等
	ヤマトシジミ	7	カタバミ
	ルリシジミ	3	ハギ類(マメ科)等
	ツバメシジミ	15	カラスノエンドウ等(マメ科)
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 タテハチョウ科	テングチョウ	27	エノキ等
	アサギマダラ	○	オオカモメヅル等(ガガイモ科)
	ミドリヒョウモン	○	タチツボスミレ等(スミレ科)
	メスグロヒョウモン	○	タチツボスミレ等(スミレ科)
	オオウラギンスジヒョウモン	6	タチツボスミレ等(スミレ科)
	ウラギンヒョウモン	8	タチツボスミレ等(スミレ科)
	ツマグロヒョウモン	5	タチツボスミレ等(スミレ科)
	アサマイチモンジ	1	スイカズラ等
	コムスジ	○	フジ、クズ等(マメ科)
	ヒョウモンモドキ	【目標種】	キセルアザミ、タムラソウ
	キタテハ	4	カナムグラ等
	ヒオドシチョウ	13	エノキ等
	ルリタテハ	4	サルトリイバラ等
	アカタテハ	1	イラクサ等(イラクサ科)
	ヒメアカタテハ	1	ハハコグサ、ヨモギ等
	ジャノメチョウ	15	ススキ、スゲ類等
	オオヒカゲ	1	カサスゲ等
	ヒカゲチョウ	2	クマザサ等
	サトキマダラヒカゲ	1	クマザサ等
	ヒメジャノメ	○	チガヤ、カサスゲ等
クロコノマチョウ	1	ススキ、ヨシ等	
ヒメウラナミジャノメ	17	ススキ、チガヤ等	
38 39 40 41 42 43 44 45 セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	1	ヤマノイモ等
	ミヤマセセリ	10	コナラ、クヌギ等(ブナ科)
	ホソバセセリ	○	ススキ等
	コチャバネセセリ	2	クマザサ等
	キマダラセセリ	○	クマザサ、ススキ等
	イチモンジセセリ	1	チガヤ、エノコログサ等
	オオチャバネセセリ	3	クマザサ、ススキ等
	チャバネセセリ	1	チガヤ、ススキ、ヨシ等

以上

※ 2014年3月24日～11月11日までの期間で月2回以上、計19回、トランセクト調査を行った
 ※ 調査では確認されなかったが、これまでに観察例のある種については○印で示した
 ※ ヒョウモンモドキについては、将来的に園内での生育・生息を目指す【目標種】として示した

参考文献：日本チョウ類保全協会編、『フィールドガイド 日本のチョウ』、誠文堂新光社、2012年。